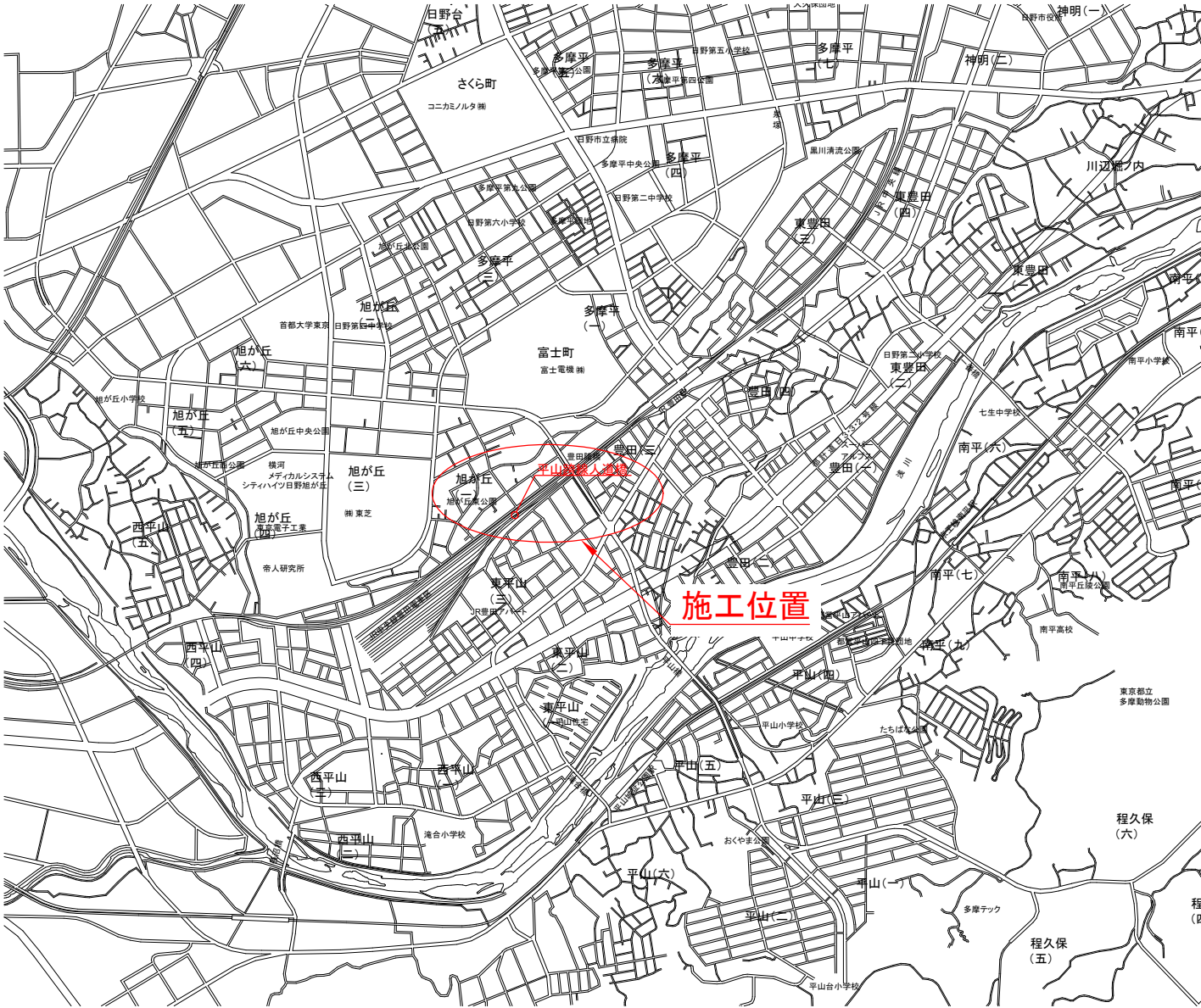


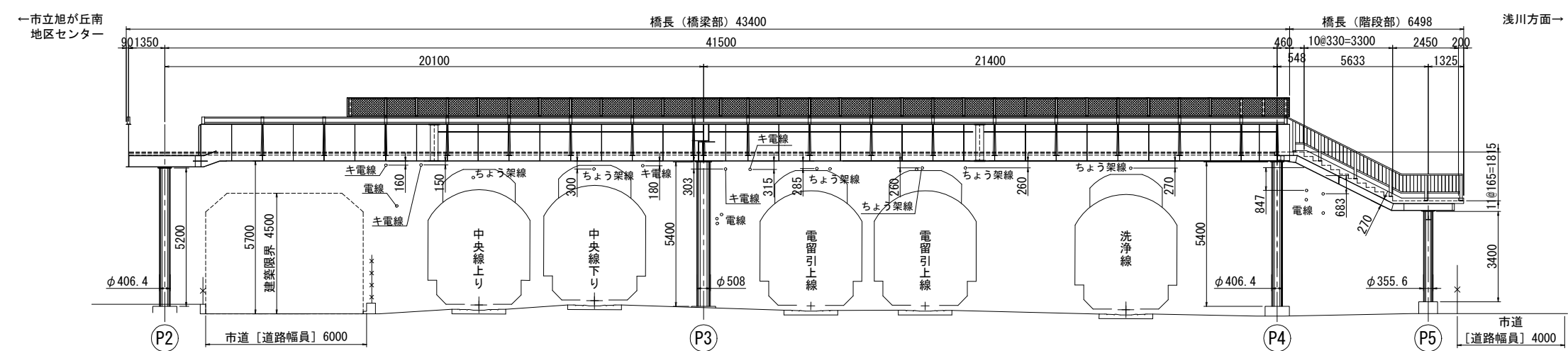
平山跨線人道橋 位置図



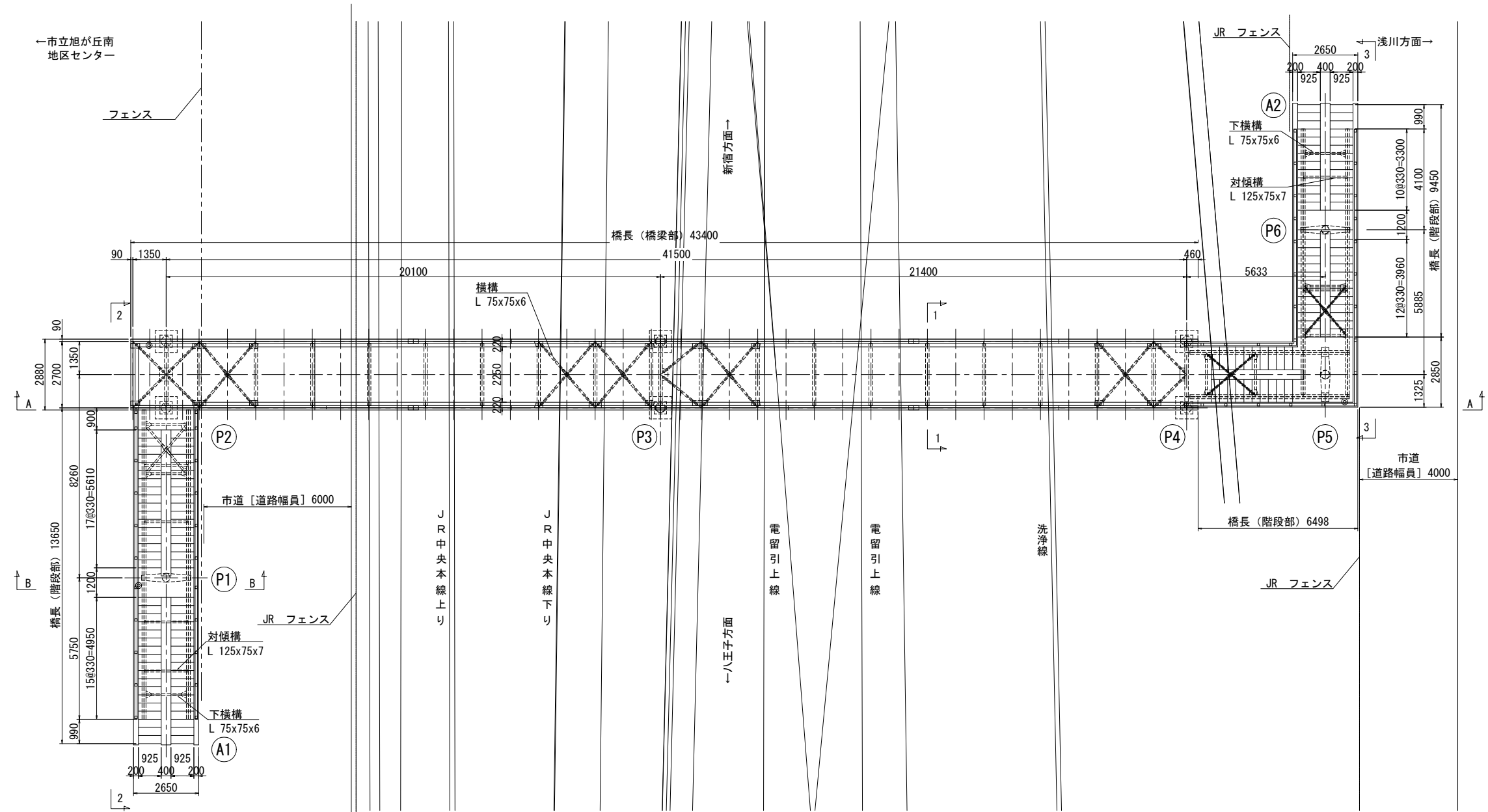
路線(河川)名					
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)			
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋			
図面名称	位置図				縮 図 示
					尺 ※ ()はA3縮小時
作成年月日		令和 7 年 7 月 日			図面番号
部 長	課 長	主 幹	係 長	照 査	設 計
浅川	小俣	伊藤	伊藤	川上	三澤
日野市 まちづくり部 道路課					1 19

平山跨線人道橋 橋梁一般図（その1）

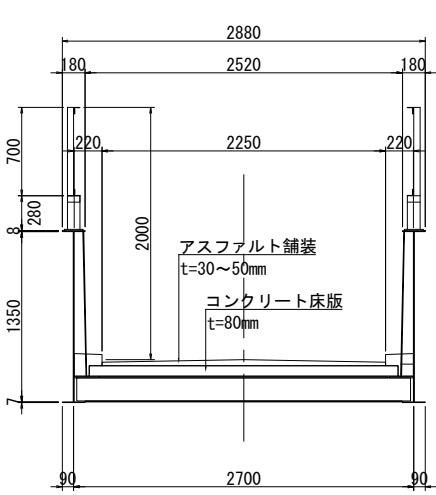
A - A 側面図 S=1:100 (S=1:200)



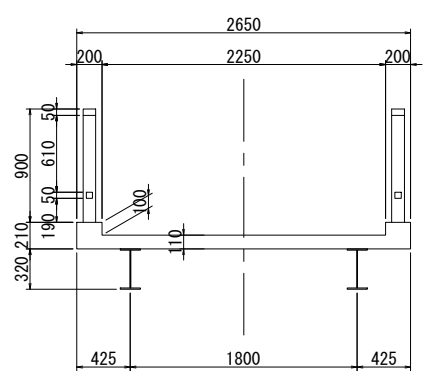
平面図 S=1:100 (S=1:200)



1 - 1 橋梁部 断面図 S=1:30 (S=1:60)



B - B 階段部 断面図 S=1:30 (S=1:60)



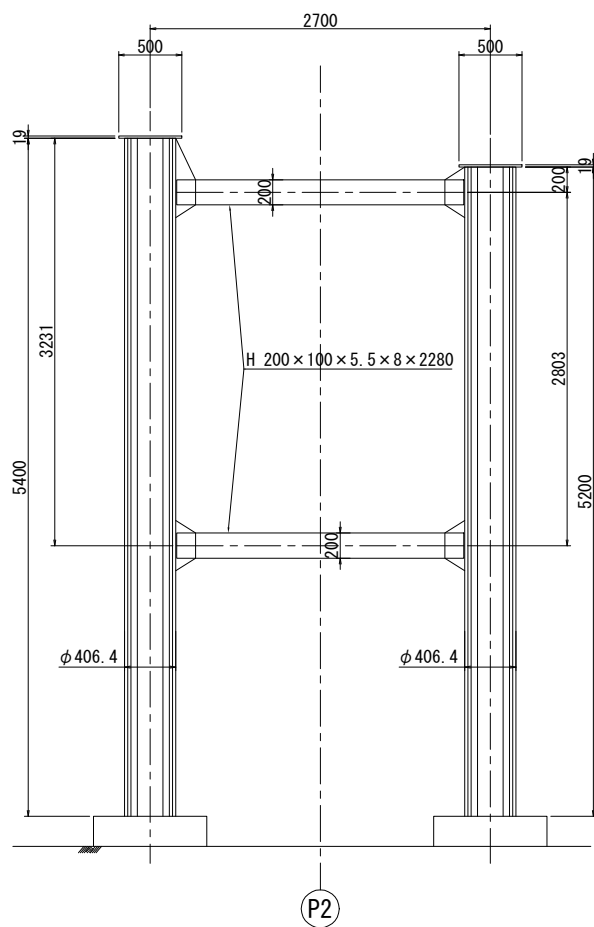
橋 梁 諸 元	
架 設 竣 工 年	1969年1月
道 路 規 格	—
交 差 条 件	鉄道 (JR中央本線)、市道
構 造 形 式	上部工 中路式2主桁 鋸桁橋
	A1, A2 : 階段基礎 (コンクリート製)
	P1, P5, P6 : T型橋脚 (鋼製円柱式)
	P2, P3, P4 : 二層ラーメン橋脚 (鋼製円柱式)
基礎工	杭基礎
橋 長	73.0m (橋梁部: 43.400m+階段部: 29.600m)
支 間 長	5.750m+8.260m+20.100m+21.400m+5.633m+5.885m+4.100m
総 幅 員	2.880m
有 効 幅 員	2.250m
斜 角	90° 00' 00"
設 計 荷 重	群集荷重
適 用 仕 様 書	不明

注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。

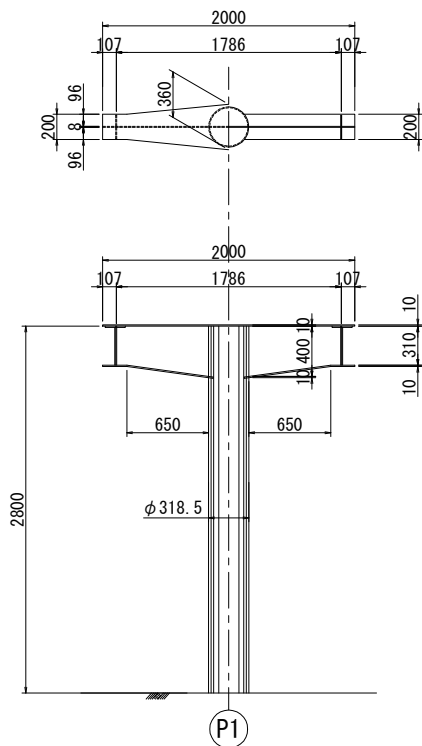
路線 (河川) 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)
工 事 件 名		平山跨線人道橋
工 事 箇 所 又 は 橋 名		橋梁一般図 (その1)
図 面 名 称	縮 尺	※ () はA3縮小時
	作成年月日	令和 7 年 7 月 日
図 面 番 号		2
日野市 まちづくり部 道路課		19

平山跨線人道橋 橋梁一般図（その2）

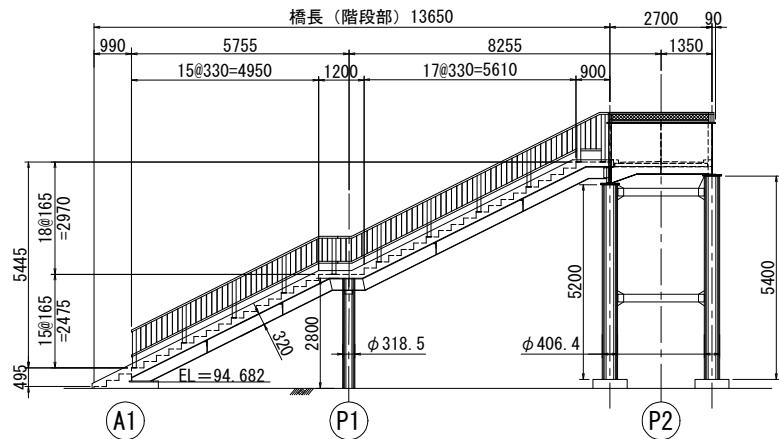
橋梁部 橋脚図 S=1:30 (S=1:60)



階段部 橋脚図 S=1:30 (S=1:60)



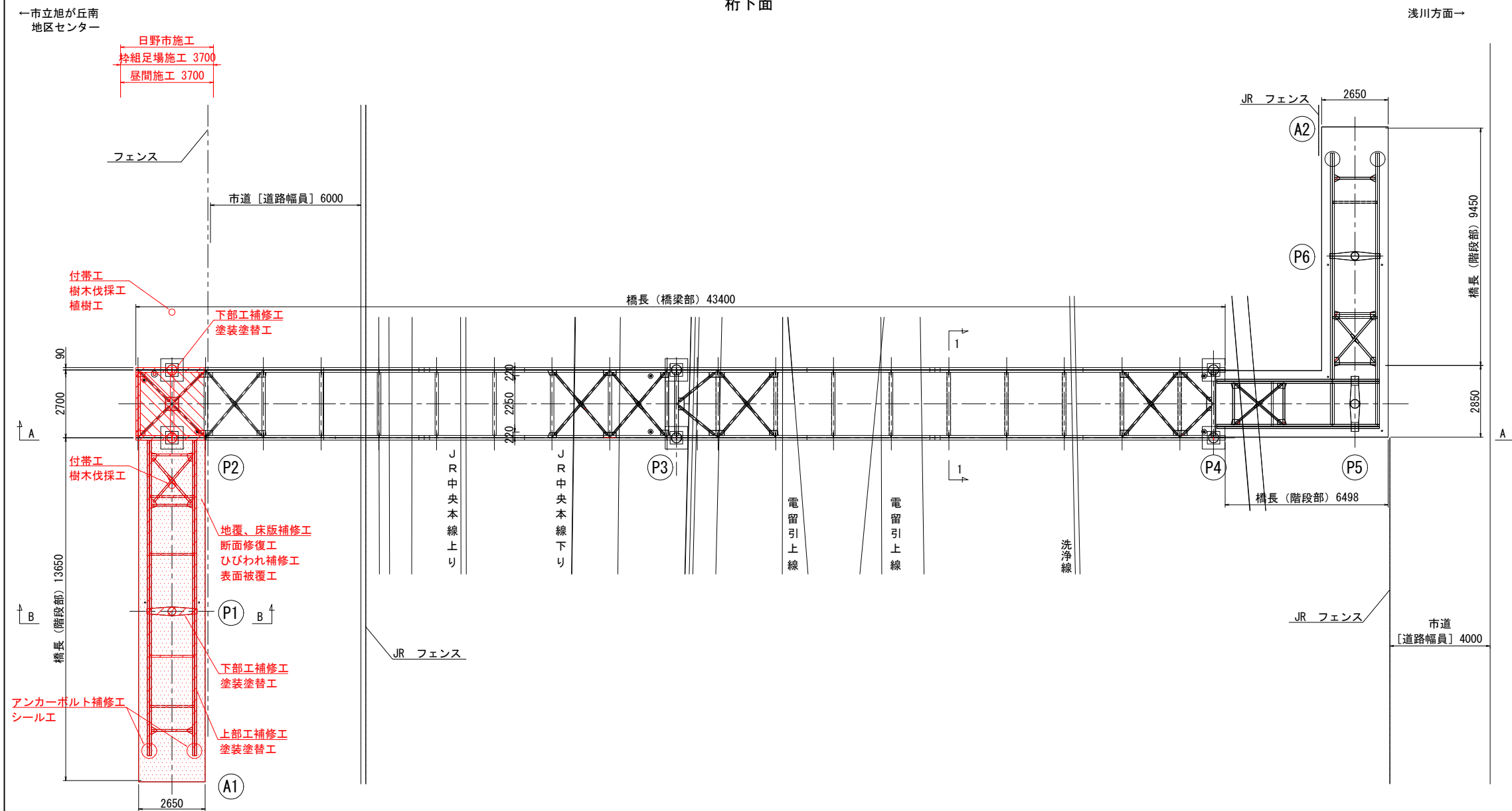
2 - 2 階段側面図 S=1:100 (S=1:200)



注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、
過年度資料を基に作成したものである。工
事の際には寸法形状を測定し使用すること。

路線(河川)名		工事 件 名	
工事 箇 所		又 は 橋 名	
図面名称		橋梁一般図（その2）	縮 図 示 尺 ※（ ）はA3縮小時
作成年月日		令和 7 年 7 月 日	図面番号
部 長		課 長	主 幹
係 長		照 査	設 計
日 野 市		ま ち づ くり 部	道 路 課
		3	19

A - A 側面図 S=1:100 (S=1:200)



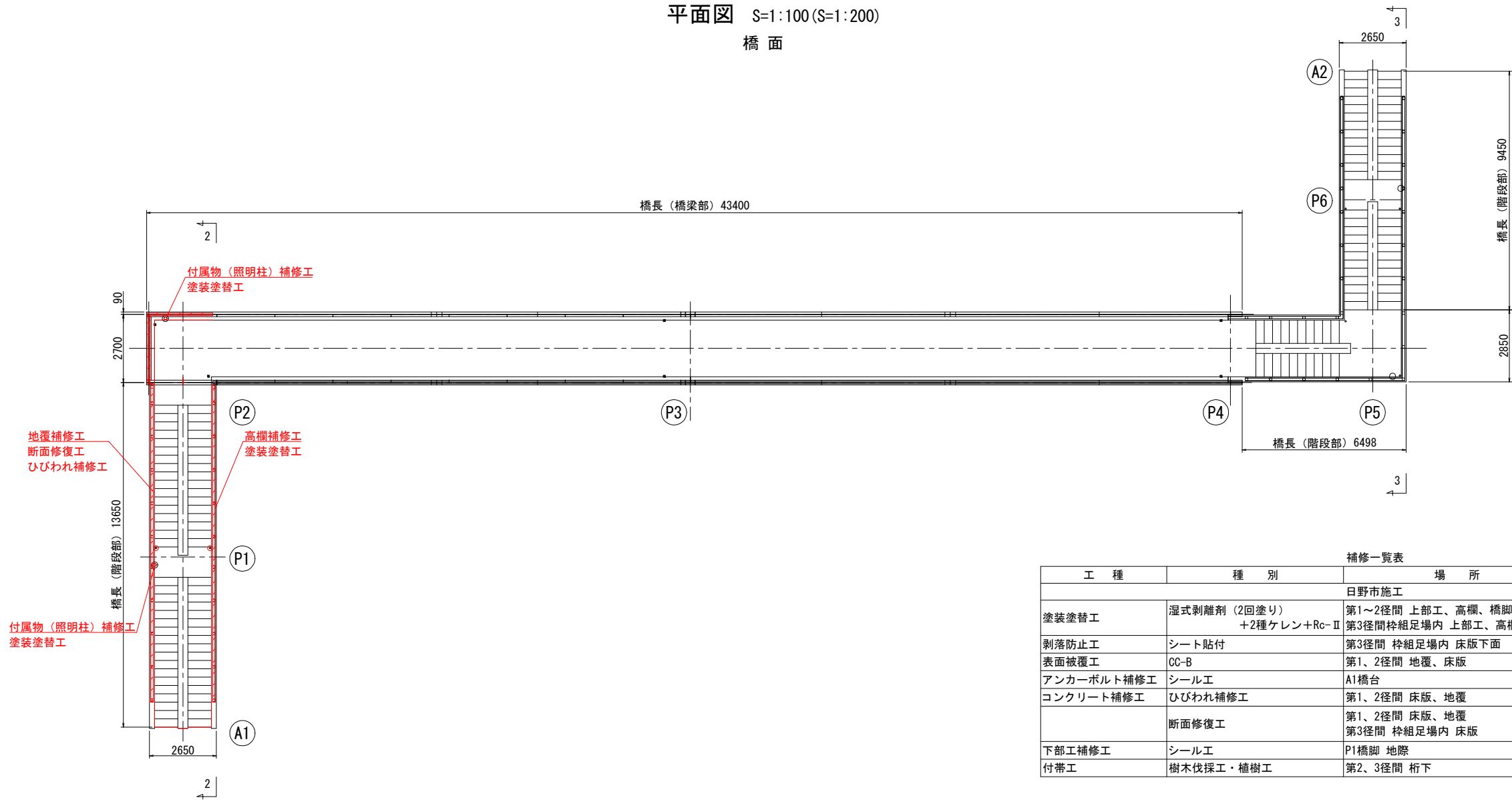
注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。

路線(河川)名			
工事 件 名		平山路線人道橋補修工事 (7-1)	
工事 箇 所 又は 橋 名		平山路線人道橋	
図 面 名 称	補修一般図 (その1)		縮 図 示 尺 寸 () はA3縮小時
	作成年月日 令和 7 年 7 月 日		図面番号
部 長 課 長 主 幹 係 長 照 査 設 計			
浅川	小俣	伊藤	伊藤 川上 三澤
日野市 まちづくり部 道路課			
4 19			

平山跨線人道橋 補修一般図（その2）

平面図 S=1:100 (S=1:200)

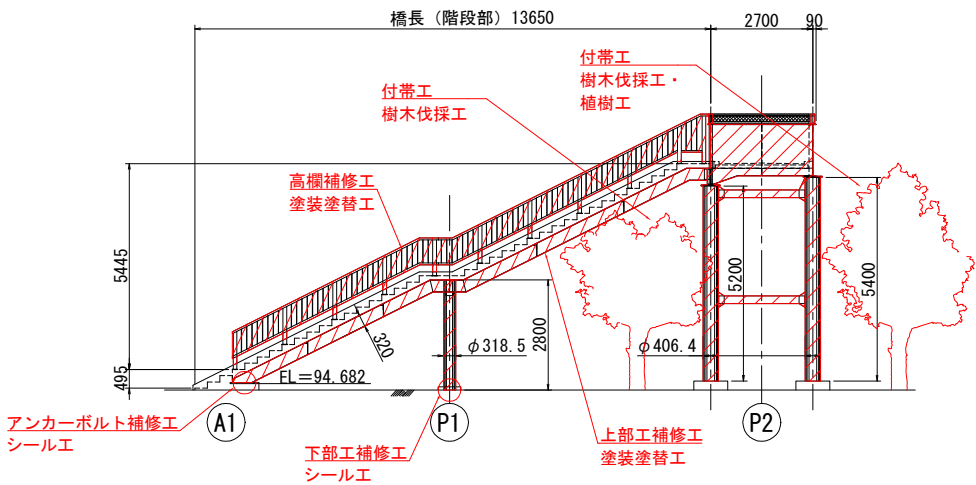
橋 面



補修一覧表

工 種	種 別	場 所	摘 要
日野市施工			
塗装塗替工	湿式剥離剤（2回塗り） +2種ケレン+Rc-II	第1～2径間 上部工、高欄、橋脚 鋼部材	
		第3径間 枠組足場内 上部工、高欄 鋼部材	
剥落防止工	シート貼付	第3径間 枠組足場内 床版下面	
表面被覆工	CC-B	第1、2径間 地覆、床版	
アンカーボルト補修工	シーリング	A1橋台	高耐久性防水防食テープ
コンクリート補修工	ひびわれ補修工	第1、2径間 床版、地覆	充てん工法
	断面修復工	第1、2径間 床版、地覆	左官工法
		第3径間 枠組足場内 床版	
下部工補修工	シーリング	P1橋脚 地際	高耐久性防水防食テープ
付帯工	樹木伐採工・植樹工	第2、3径間 桁下	

2 - 2 階段側面図 S=1:100 (S=1:200)

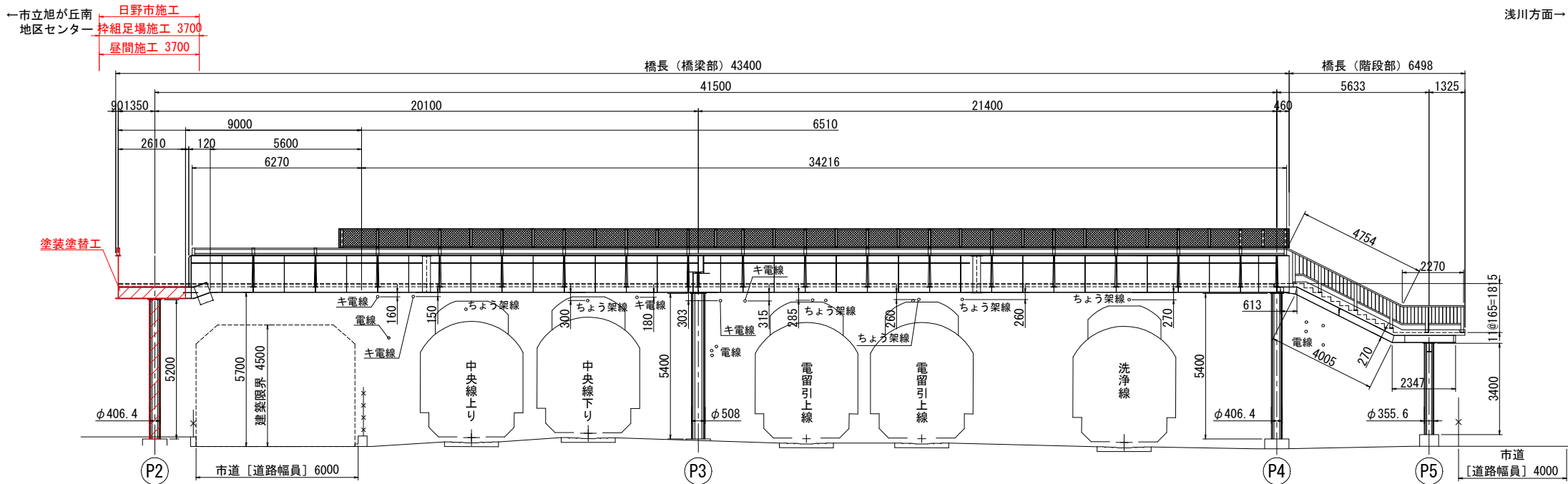


注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、
過年度資料を基に作成したものである。工
事の際には寸法形状を測定し使用すること。

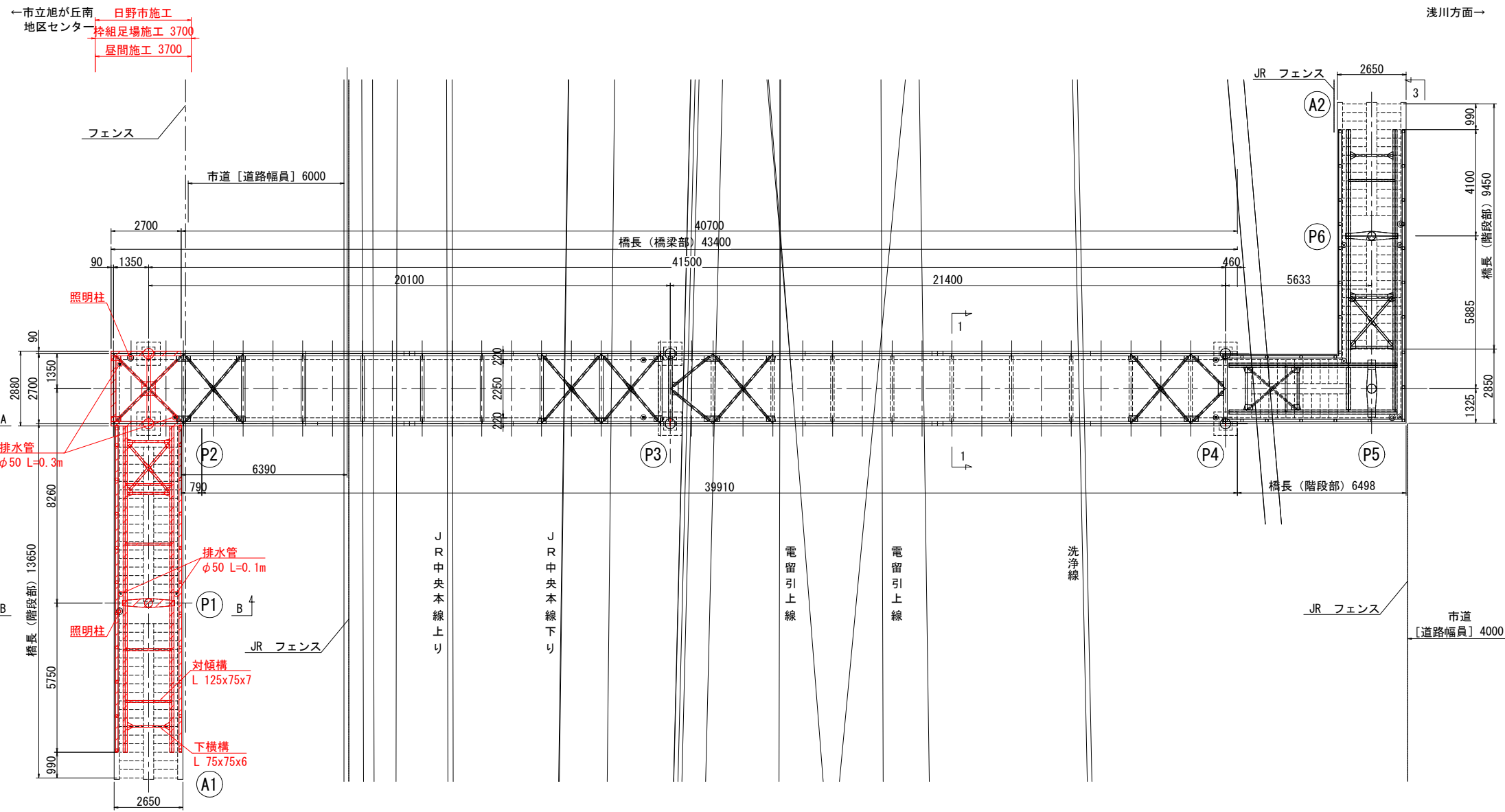
路線(河川)名		工 事 件 名	
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
図面名称		平山跨線人道橋	
縮 尺		縮 尺 ※ ()はA3縮小	
作成年月日		令和 7 年 7 月 日	
図面番号		5	
部長 課長 主幹 係長 照査 設計		日野市 まちづくり部 道路課	
19			

平山跨線人道橋 塗装塗替工図（その1）

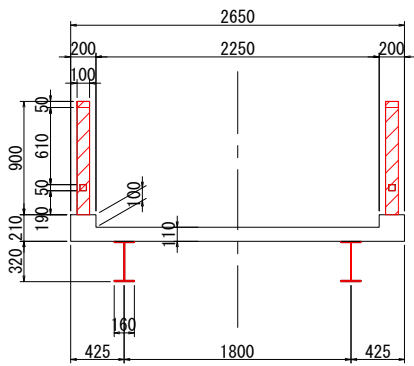
A - A 側面図 S=1:100 (S=1:200)



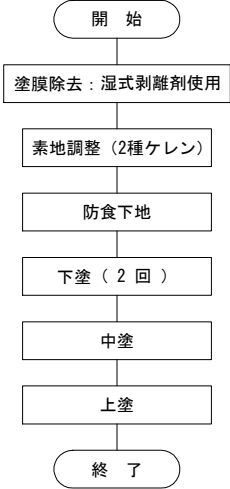
平面図 S=1:100 (S=1:200)



B - B 階段部 断面図 S=1:30 (S=1:60)



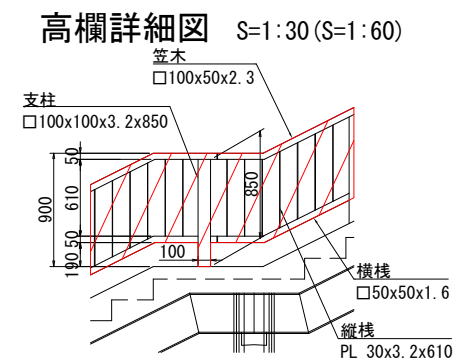
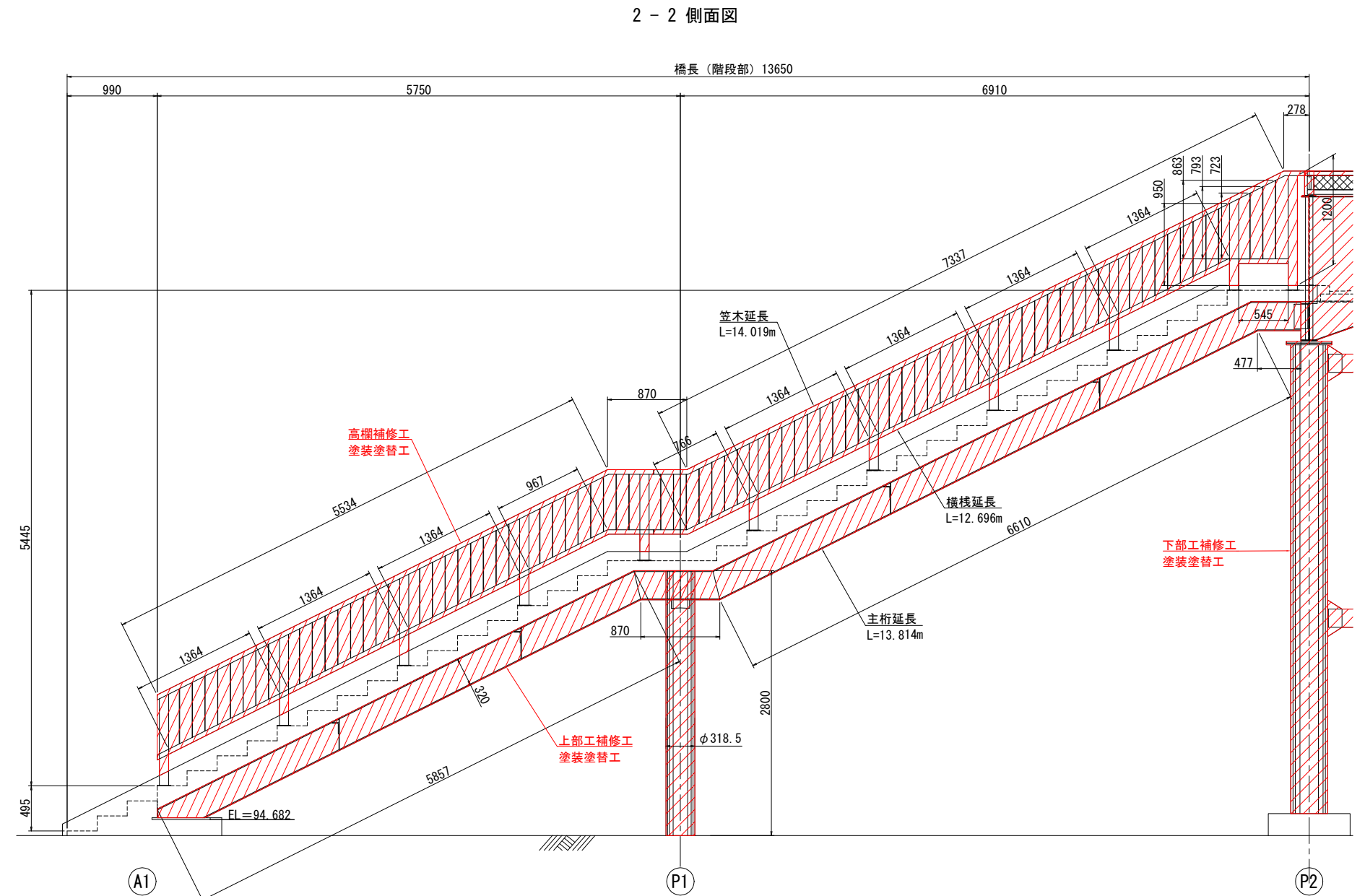
< 施工手順 >



- 注記
- この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
 - 旧塗膜の有害物質含有調査より、180,000mg/kgの鉛及び最大1.2mg/kgのPCBが含有されている結果となった。塗替え作業においては「鉛中毒予防規則」と「特定化学物質障害予防規則」（厚生労働省通知）に適用されることに注意し、「鉛等有害物質を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」（厚生労働省通知）、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（環境省通知）の配慮が必要である。
 - 塗膜剥離剤塗布回数は剥離試験の結果から市施工側の回数を2回塗りとして設定している。

路線(河川)名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
工 事 件 名		平山跨線人道橋	
工 事 箇 所 又は橋名		平山跨線人道橋	
図面名称	塗装塗替工図（その1）		縮 図 示 尺 ※ () はA3縮小時
	作成年月日		令和 7 年 7 月 日
部長 課長 主幹 係長 照査 設計		図面番号	
川 小 伊 伊 川 三		6	
日野市 まちづくり部 道路課		19	

第1、2径間 階段部詳細図 S=1:30 (S=1:60)

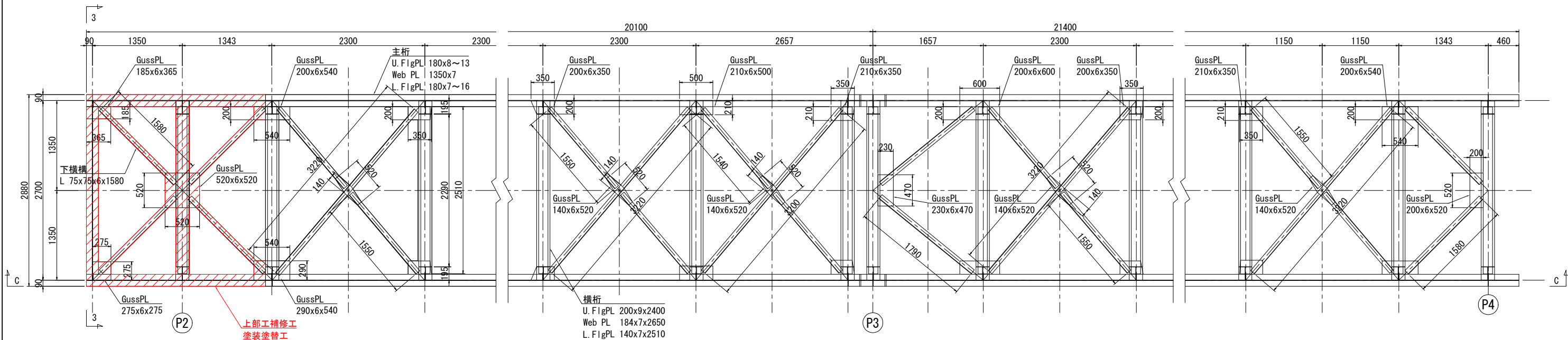


路線(河川)名									
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)							
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋							
図 面 名 称	塗装塗替工図 (その2)						縮 尺	図 示 ※ () はA3縮小時	
	作成年月日		令和 7 年 7 月 日				図面番号		
部 長	課 長	主 幹	係 長	照 査	設 計	7 19			
(浅川)	(小泉)	(伊藤)	(伊藤)	(川上)	(三澤)				
日野市 まちづくり部 道路課									

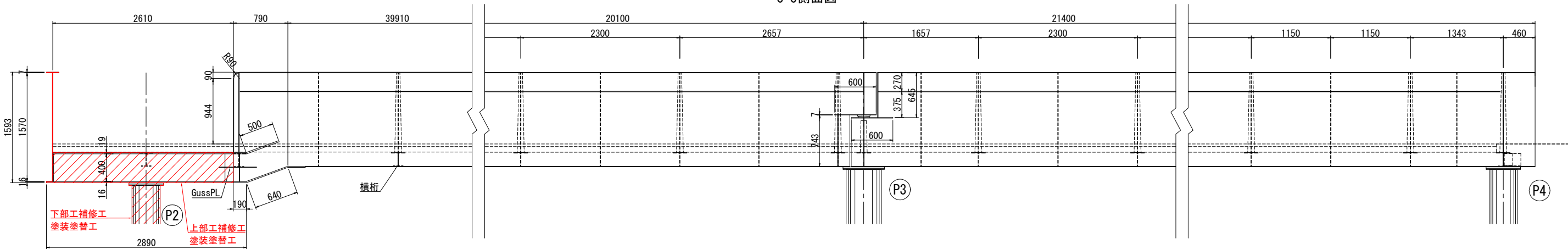
平山跨線人道橋 塗装塗替工図（その3）

橋梁部 鋼部材詳細図 S=1:30 (S=1:60)

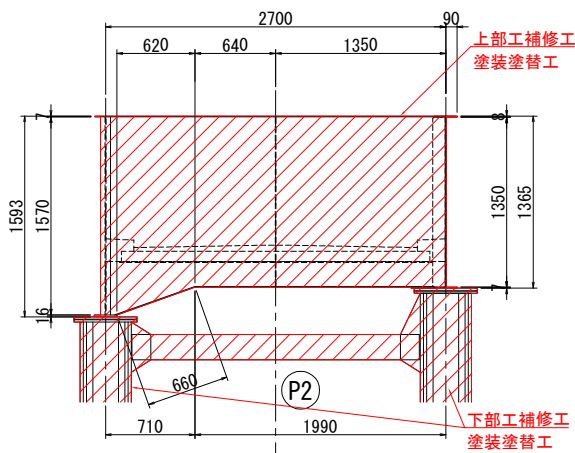
平面図



C-C側面図



3-3 断面図

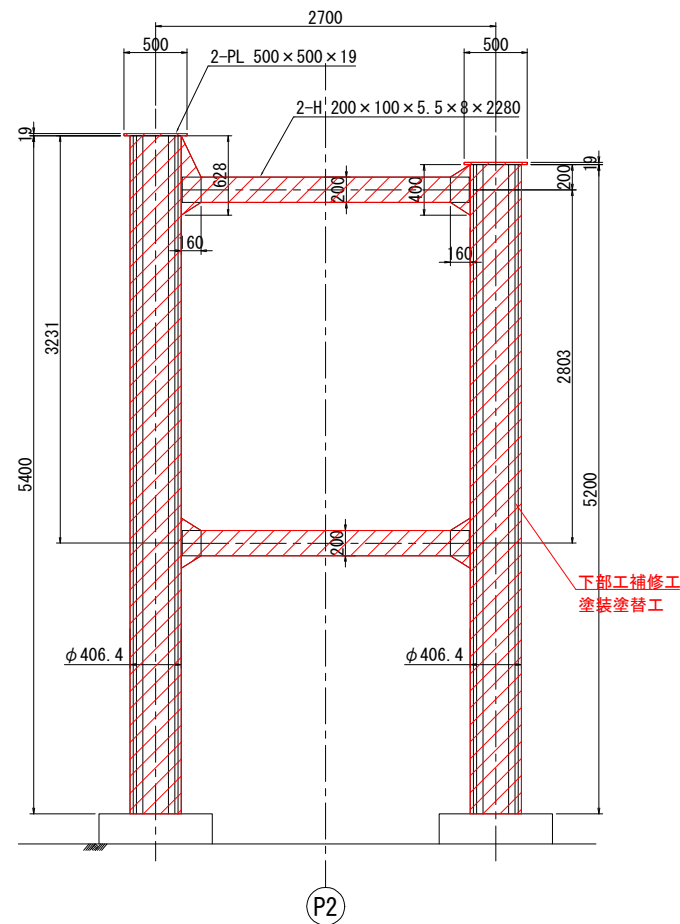


注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、
過年度資料を基に作成したものである。工
事の際には寸法形状を測定し使用すること。

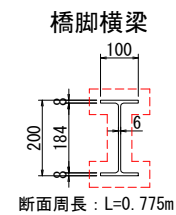
路線(河川)名	平山跨線人道橋補修工事 (7-1)		
工 事 件 名	平山跨線人道橋		
工 事 箇 所 又 は 橋 名	平山跨線人道橋		
図 面 名 称	塗装塗替工図（その3）	縮 尺	図 示 ※（ ）はA3縮小時
作成年月日	令和 7 年 7 月 日		
部 長	課 長	主 幹	係 長
伊 藤	小 川	伊 藤	伊 藤
三 浦	三 浦	三 浦	三 浦
日野市 まちづくり部 道路課			
図面番号			8
			19

平山跨線人道橋 塗装塗替工図（その4）

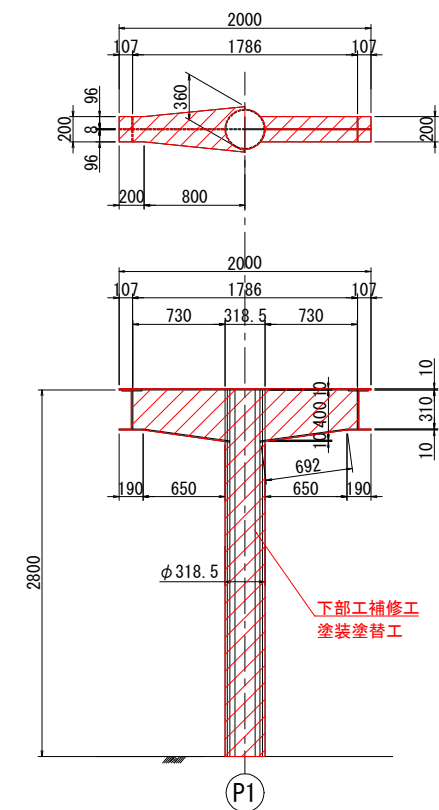
橋梁部 橋脚図 S=1:30 (S=1:60)



部材断面図 S=1:10 (S=1:20)



階段部 橋脚図 S=1:30 (S=1:60)



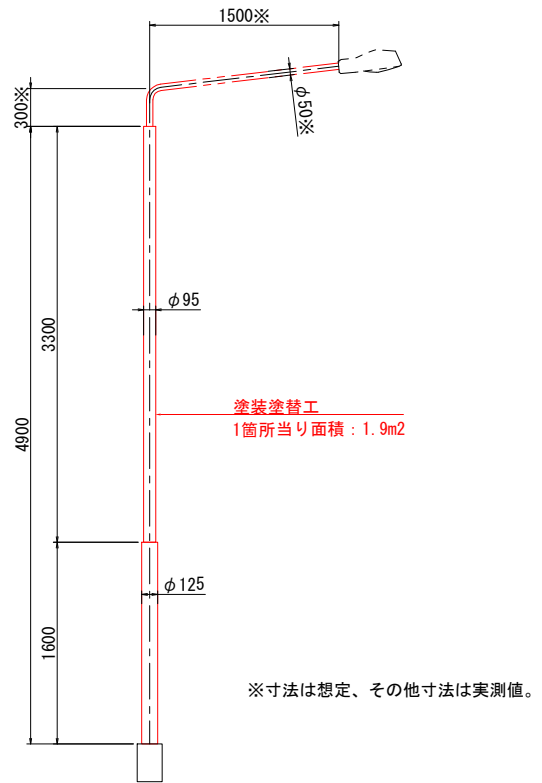
注記)

1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものであり、照明柱詳細図は参考図である。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
2. 塗膜剥離剤塗布回数は剥離試験の結果から市施工側の回数を2回塗りと設定している。

路線(河川)名					
工事件名		平山線人道橋補修工事(7-1)			
工事箇所又は橋名		平山線人道橋			
図面名称	塗装塗替工図(その4)			縮尺	図示 ※()はA3縮小時
	作成年月日			令和 7 年 7 月 日	
部長 課長 主幹 係長 照査 設計		図面番号			
浅川 小俣 伊藤 伊藤 川上 三澤		9		19	
日野市 まちづくり部 道路課					

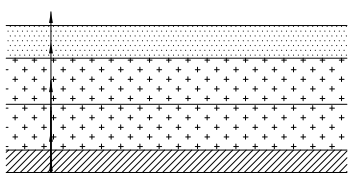
平山跨線人道橋 塗装塗替工図（その5）

照明柱詳細図（参考図） S=1:30 (S=1:60)



塗装構成詳細

Rc-Ⅱ 塗装系（はけ、ローラー）



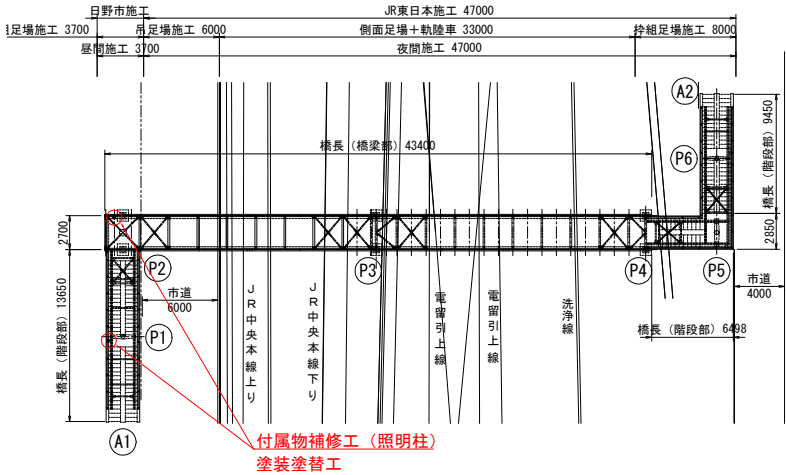
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120g/m2
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m2
有機ジンクリッチペイント	600（240）g/m2
鋼材面	2種ケレン

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
塗膜除去	湿式剥離剤		
素地調整	2種ケレン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント※	600	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

鋼道路橋塗装防食便覧 H26. 3 (社)日本道路協会

○使用する剥離剤及び塗布回数
日野市施工部
・水系（酸性）剥離剤：2回塗り
※塗布回数は剥離試験の結果より決定

位置図 S=1:300 (S=1:600)



- 注記）
- この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものであり、照明柱詳細図は参考図である。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
 - 塗膜剥離剤塗布回数は剥離試験の結果から市施工側の回数を2回塗りと設定している。

路線(河川)名			
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋	
図面名称	塗装塗替工図（その5）		縮 図 示 尺 ※（ ）はA3縮小時
	作成年月日		令和 7 年 7 月 日
部 長		課 長	
主 幹		係 長	
照 査		設 計	
日 野 市		ま ち づ くり 部	
道 路 課		図面番号	
		10	
		19	

1径間 ひびわれ充てん・断面修復工

ひびわれ充填工
1-1 地覆: W0. 3xL2000

断面修復工
地覆: うき
1-3 100x200

ひびわれ充填工
1-2 舗装: W0. 2xL400x2本

断面修復工
地覆: 剥離・鉄筋露出
1-1 50x150x2カ所
1-2 50x100x2カ所

断面修復工
地覆: 剥離・鉄筋露出
1-4 50x100x2カ所

ひびわれ充填工
1-3 舗装: W0. 3xL400

P1

[illegible]

No.	場所	ひびわれ幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量 (m)	摘 要
1-1	地覆	0.3	2.0	1	2.0	
1-2	舗装	0.2	0.4	2	0.8	
1-3	舗装	0.3	0.4	1	0.4	
1-4	床版	0.2	1.6	2	3.2	
1-5	床版	0.2	1.6	3	4.8	
1-6	床版	0.2	0.3	1	0.3	
1-7	床版	0.3	1.0	1	1.0	
合 計 (m)				11	12.5	

No.	場所	損傷寸法 (mm)	補修寸法 (mm)	面積 (m2) ^{※1}	深さ (m) ^{※2}	体積 (m3)	箇所数	数量 (m3)	摘要
1-①	地覆	50x150	150x250	0.04	0.03	0.001	2	0.002	
1-②	地覆	50x100	150x200	0.03	0.03	0.001	2	0.002	
1-③	地覆	100x200	200x300	0.06	0.03	0.002	1	0.002	
1-④	地覆	50x100	150x200	0.03	0.03	0.001	2	0.002	
1-⑤	床版	50x50	150x150	0.02	0.03	0.001	2	0.002	
1-⑥	床版	50x50	150x150	0.02	0.03	0.001	2	0.002	
1-⑦	床版	50x50	150x150	0.02	0.03	0.001	2	0.002	
1-⑧	床版	50x50	150x150	0.02	0.03	0.001	3	0.003	
1-⑨	床版	50x50	150x150	0.02	0.03	0.001	2	0.002	
合計 (m3)							18	0.019	

プライマー塗布

可とうエポキシ樹脂

10~15

5

-
- ```

graph TD
 A([開始]) --> B[ひびわれ面の
ヒカッパ]
 B --> C[清掃]
 C --> D[プライマー塗布]
 D --> E[バックアップ材挿入]
 E --> F[充てん材を充填]
 F --> G[養生]
 G --> H([終了])

```
- 開始
- ひびわれ面の  
ヒカッパ
- 清掃
- プライマー塗布
- バックアップ材挿入
- 充てん材を充填
- 養生
- 終了

カッター工

カッター工

鉄筋ケレン  
亜硝酸系鉄筋防錆材塗布

ポリマーセメントモルタル

エポキシ樹脂系プライマー

- ```

graph TD
    A[開始] --> B[損傷部のはつり]
    B --> C[鉄筋の錆落し・清掃]
    C --> D[鉄筋に防錆材塗布]
    D --> E[プライマー塗布]
    E --> F[充填材を充填]
    F --> G[養生]
    G --> H[終了]
  
```

断面修復工 補修範囲図

50mm

損傷範囲

50mm

50mm

W

断面修復部

損傷部

断面範囲

L

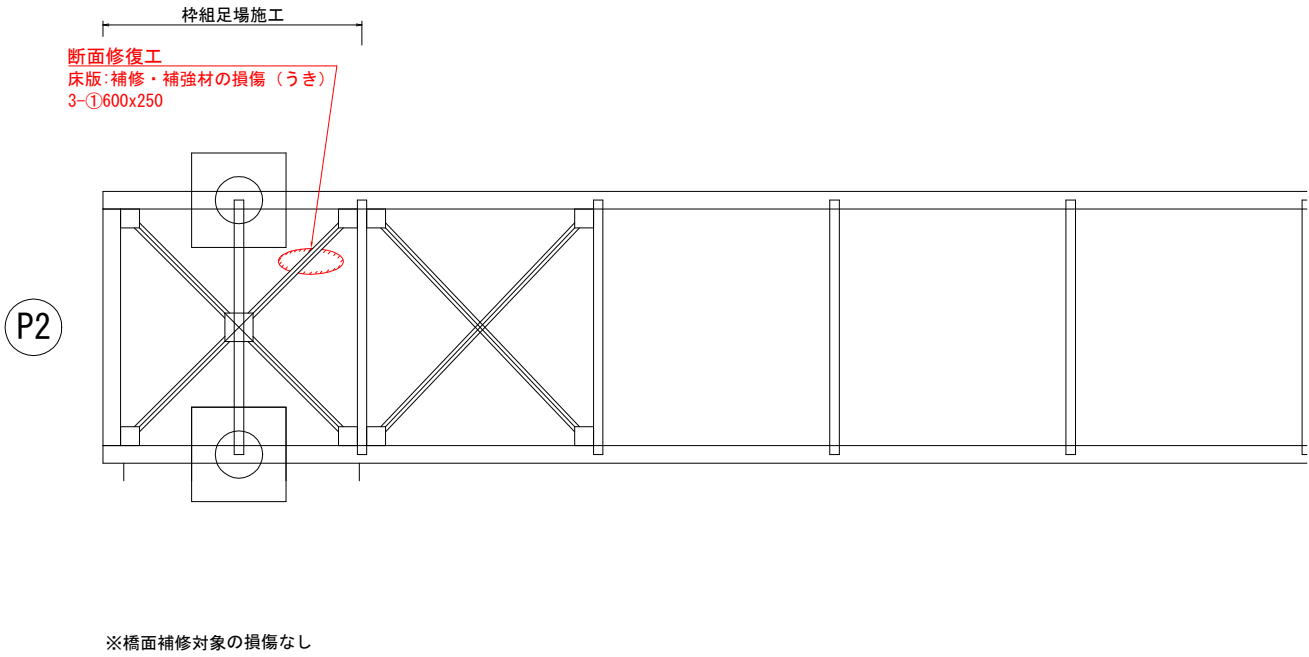
※施工

路線(河川)名					
工 事 件 名	平山路線人道橋補修工事 (7-1)				
工 事 箇 所 又は 橋 名	平山路線人道橋				
図面 名称	コンクリート補修工区 (その1)		縮 尺	図 示 ※ () はA3縮小時	
	作成年月日	令和 7 年 7 月 日			図面番号
部 長	課 長	主 幹	係 長	無 査	設 計
浅 川	小 俣	伊 藤	伊 藤	川 上	三 澤
日野市 まちづくり部 道路課					11 19

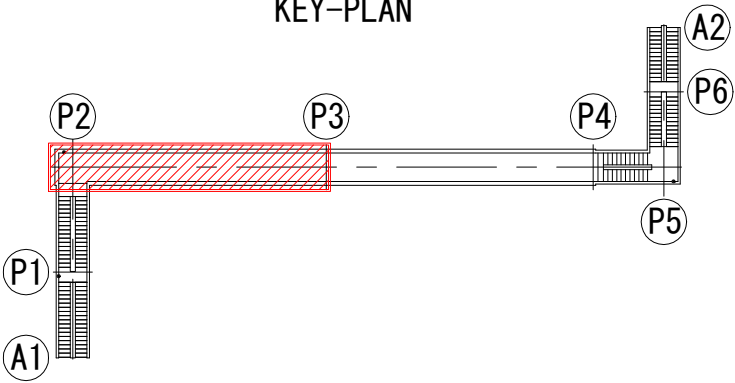
平山跨線人道橋 コンクリート補修工図（その3）

3径間 断面修復工

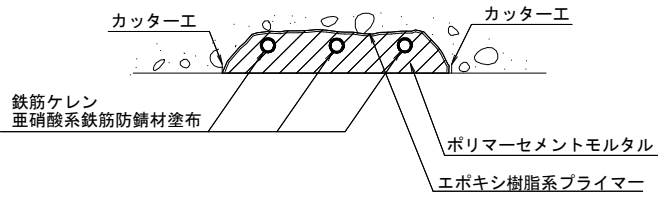
平面図（下面） S=1:40 (S=1:80)



KEY-PLAN

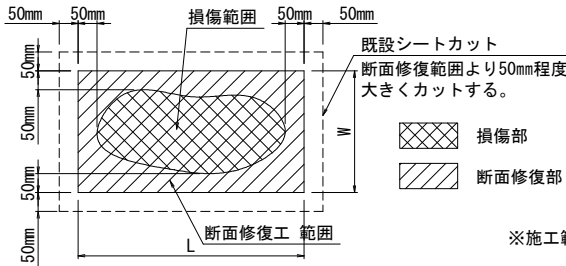


断面修復工（参考）
（左官工法）



注）1. 既設床版の残存厚が薄いため、施工の際は無理のない範囲で行うこと。
2. 鉄筋錆については、ワイヤブラシやディスクサンダーなどで確実に除去すること。
3. 既設鉄筋はケレン後迅速に、防錆材を塗布すること。

断面修復工 補修範囲図



※施工範囲に表面保護材等が残っている場合は、必要な範囲で撤去すること。

断面修復工 数量表

No.	場所	損傷寸法（mm）	補修寸法（mm）	面積（m ² ）	深さ（m）	体積（m ³ ）	箇所数	数量（m ³ ）	摘要
3-①	床版	600x250	700x350	0.24	0.03	0.008	1	0.0080	枠組足場施工
枠組足場施工 合計（m ³ ）							1	0.0080	
総合計（m ³ ）							1	0.008	

※1 損傷深さは30mmとして算出する。
※2 最小体積は0.001m³とする。

注記）
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
2. 点検時の損傷図等から数量が読み取れない場合は推定とする。

路線(河川)名			
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋	
図面 名称	コンクリート補修工図 (その3)		縮 図 示 尺 ※ ()はA3縮小時
	作成年月日		令和 7 年 7 月 日
部 長 課 長 主 幹 係 長 照 査 設 計			13 19
日野市 まちづくり部 道路課			

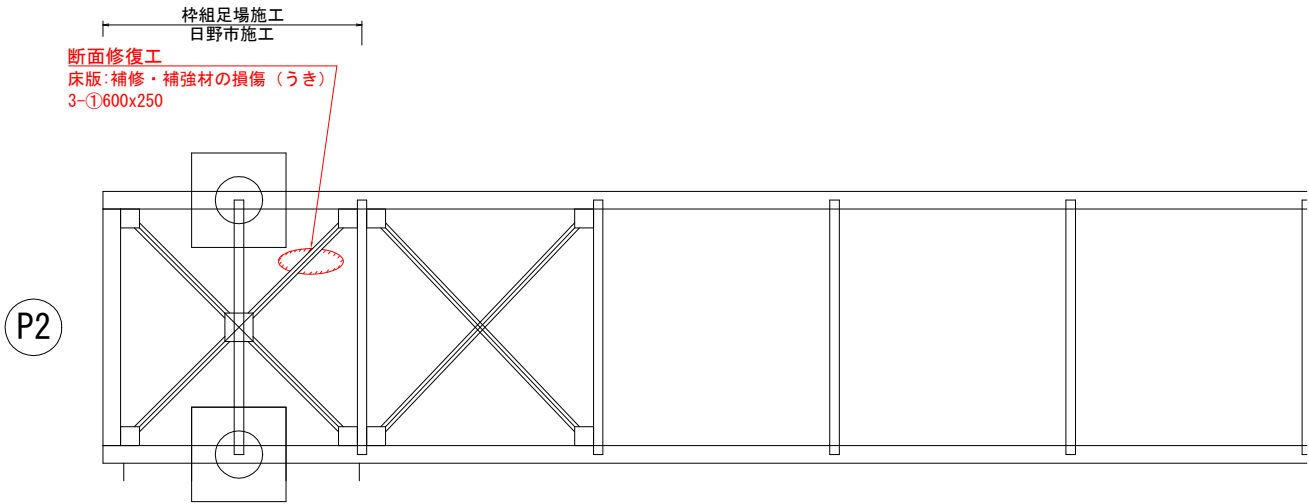
平山跨線人道橋 剥落防止工図（その1）

3径間 剥落防止工

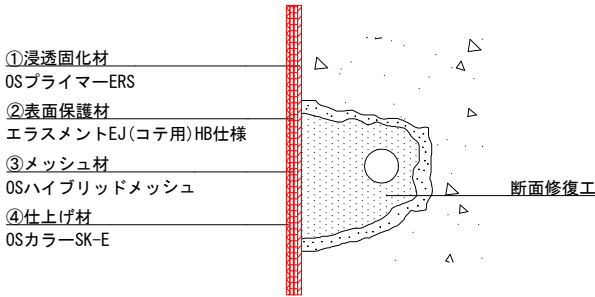
平面図（下面） S=1:40 (S=1:80)

剥落防止工（参考）

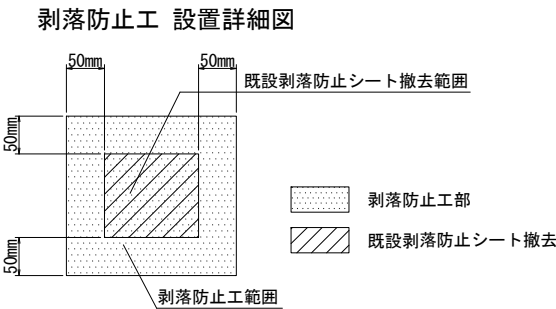
（セメンテックスRBエラスメッシュT工法・HB仕様 相当品）



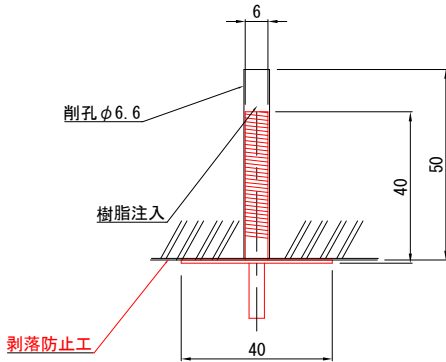
※橋面補修対象の損傷なし



No.	名 称	使 用 材 料	標準使用量 (kg/m2)	施 工 方 法
①	浸透固化材	OSプライマー ERS	0.15	ハケ・ローラー
②	表面保護材	エラスメント EJ (コテ用)HB仕様	3.0	コテ
③	メッシュ材	OSハイブリッドメッシュ	1.05m/m2	コテ
④	仕上げ材	OSカラーSK-E	0.25	ハケ・ローラー



アンカー工詳細図
（ステンレス樹脂併用型アンカー）
コンボジットアンカーJP-640PT相当品

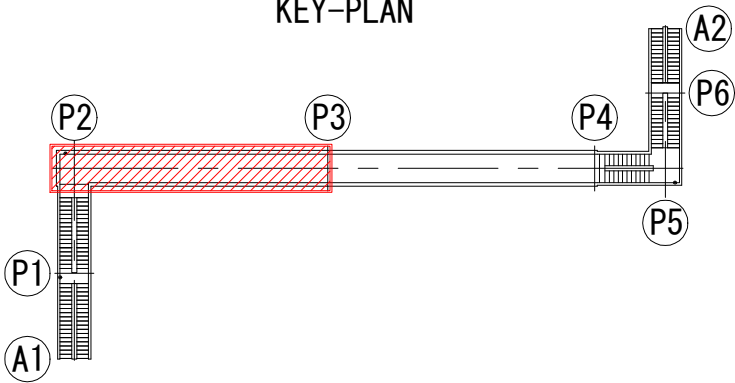


注記
1) 削孔径6.6mm、削孔深さ50mm
2) 削孔後、樹脂を注入し、硬化前にアンカーを挿入設置すること。
3) 設置位置はメッシュの端部に1本/500mm、中央部に1本/1m2の割合で設置すること。

剥落防止工 数量表

No.	場所	損傷寸法 (mm)	既設シート撤去範囲 (mm)	剥落防止工範囲 (mm)	アンカー本数 (本)	面積 (m2)	箇所数	数量 (m2)	摘 要
3-①	床版	600x250	800x450	900x550	7	0.50	1	0.50	桢組足場施工
桢組足場施工 合計 (m2)							1	0.50	
総合計 (m2)							1	0.50	

KEY-PLAN

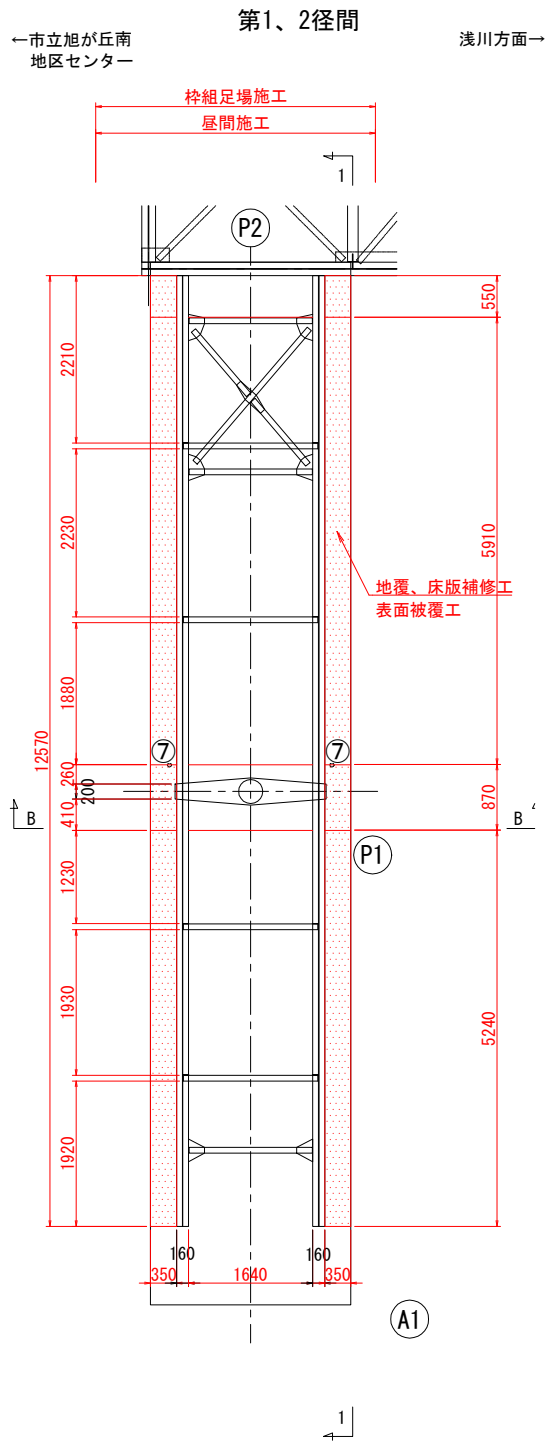


注記
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
2. 点検時の損傷図等から数量が読み取れない場合は推定とする。

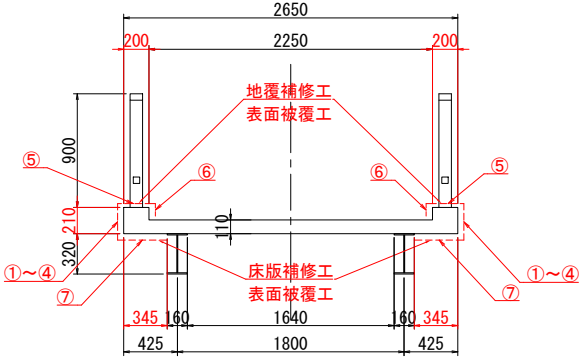
路線(河川)名		工事件名		工事箇所又は橋名	
平山跨線人道橋		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)		平山跨線人道橋	
図面名称		剥落防止工図 (その1)		縮尺	図示
作成年月日		令和7年7月		図面番号	
部長課長主幹係長照査設計		14		19	
日野市 まちづくり部 道路課					

平山跨線人道橋 表面被覆工図

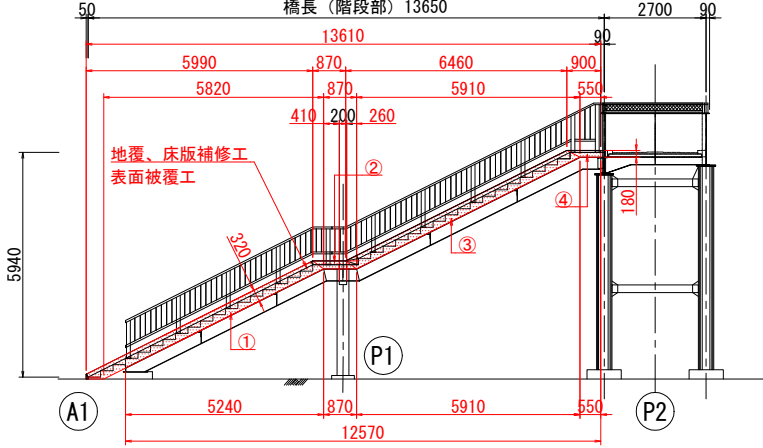
平面図 S=1:50 (S=1:100)



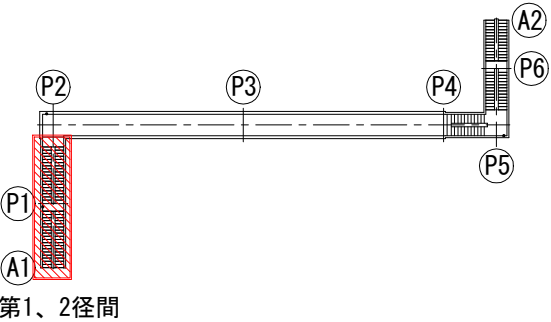
B - B 階段部 断面図 S=1:30 (S=1:60)



1 - 1 階段側面図 S=1:100 (S=1:200)

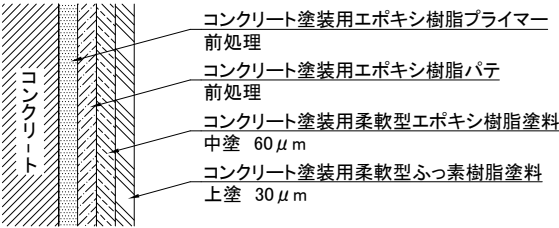


KEY-PLAN



表面被覆工 数量表			
工種	範囲	施工面積 (㎡)	備考
表面被覆工	第1、2径間	30.1	①～⑦
計		30.1	

コンクリート塗装構成図

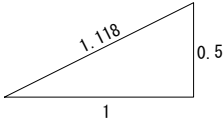


塗装仕様 (鋼道路橋防食便覧(平成26年3月(社)日本道路協会) CC-B)

工程	使用材料	標準使用量	標準膜厚 μm	塗装方法
前処理	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	100g/㎡	—	スプレー塗装
	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	300g/㎡	—	へら
中塗	コンクリート塗装用 柔軟型エポキシ樹脂塗料	320g/㎡	60	スプレー塗装
上塗	コンクリート塗装用 柔軟型ふっ素樹脂塗料	150g/㎡	30	スプレー塗装

※上塗の指定色は色見本を作成し、監督員の許可を得た上で決定すること。

＜施工手順＞



注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。

路線(河川)名		工事 件 名	
平山跨線人道橋		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
工事 箇 所		又 は 橋 名	
平山跨線人道橋			
図面名称	表面被覆工図		縮 図 示
			尺 ※ ()はA3縮小時
作成年月日		令和 7 年 7 月 日	図面番号
部 長 課 長 主 幹 係 長 照 査 設 計			15
日野市 まちづくり部 道路課			19

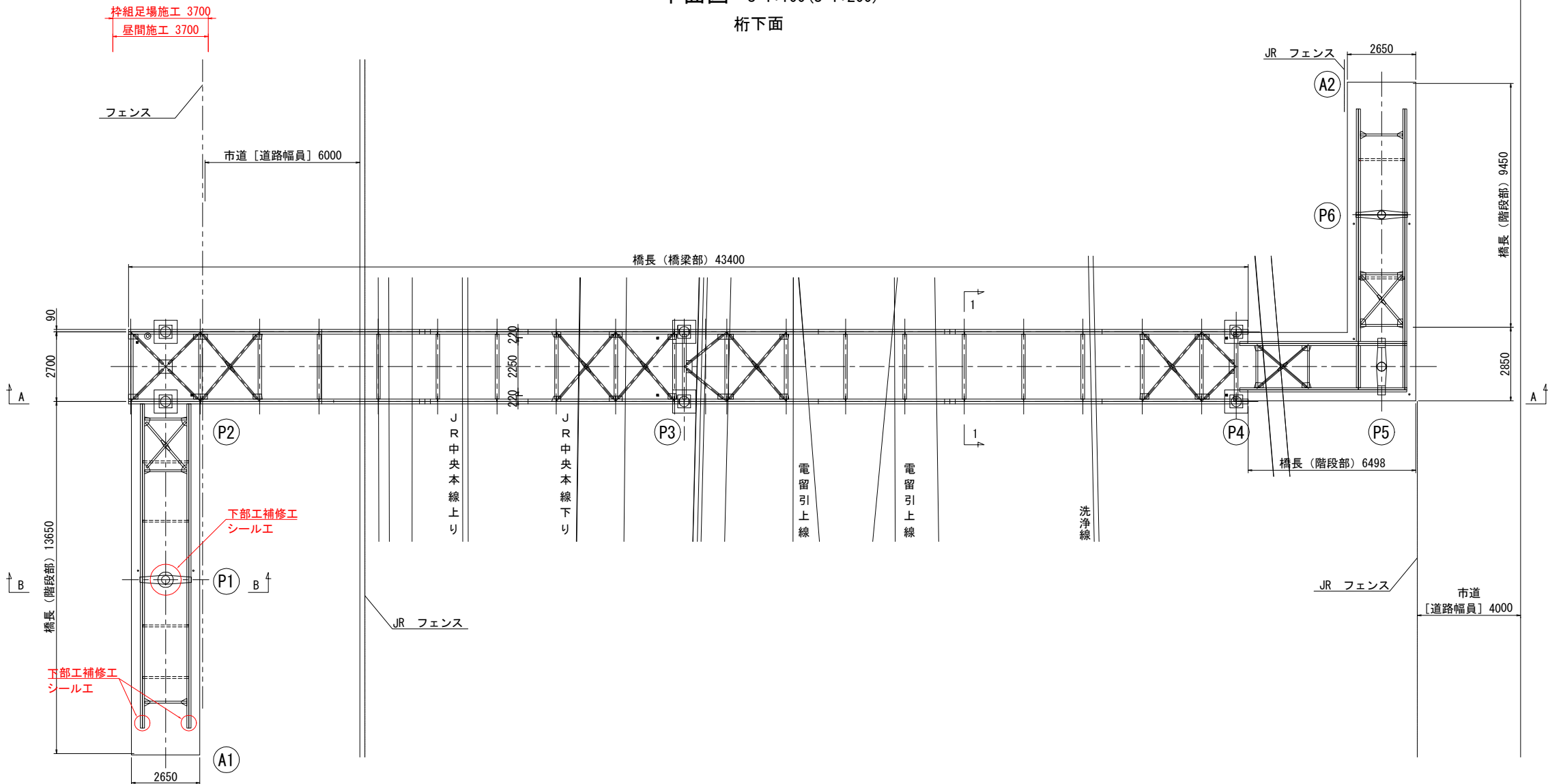
平山跨線人道橋 下部工補修工図

←市立旭が丘南
地区センター

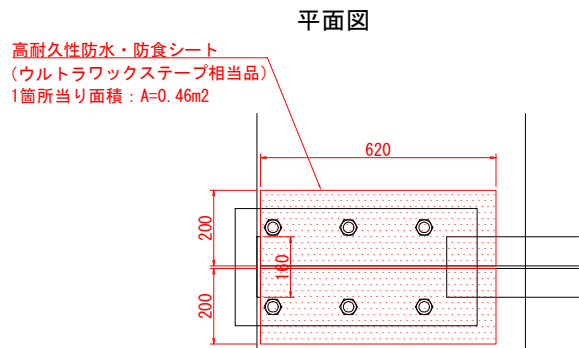
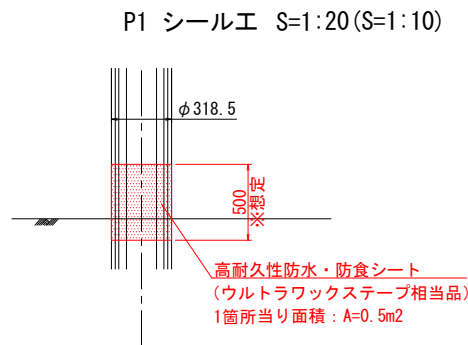
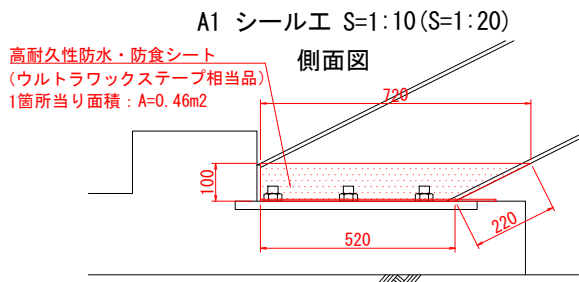
浅川方面→

平面図 S=1:100 (S=1:200)

桁下面



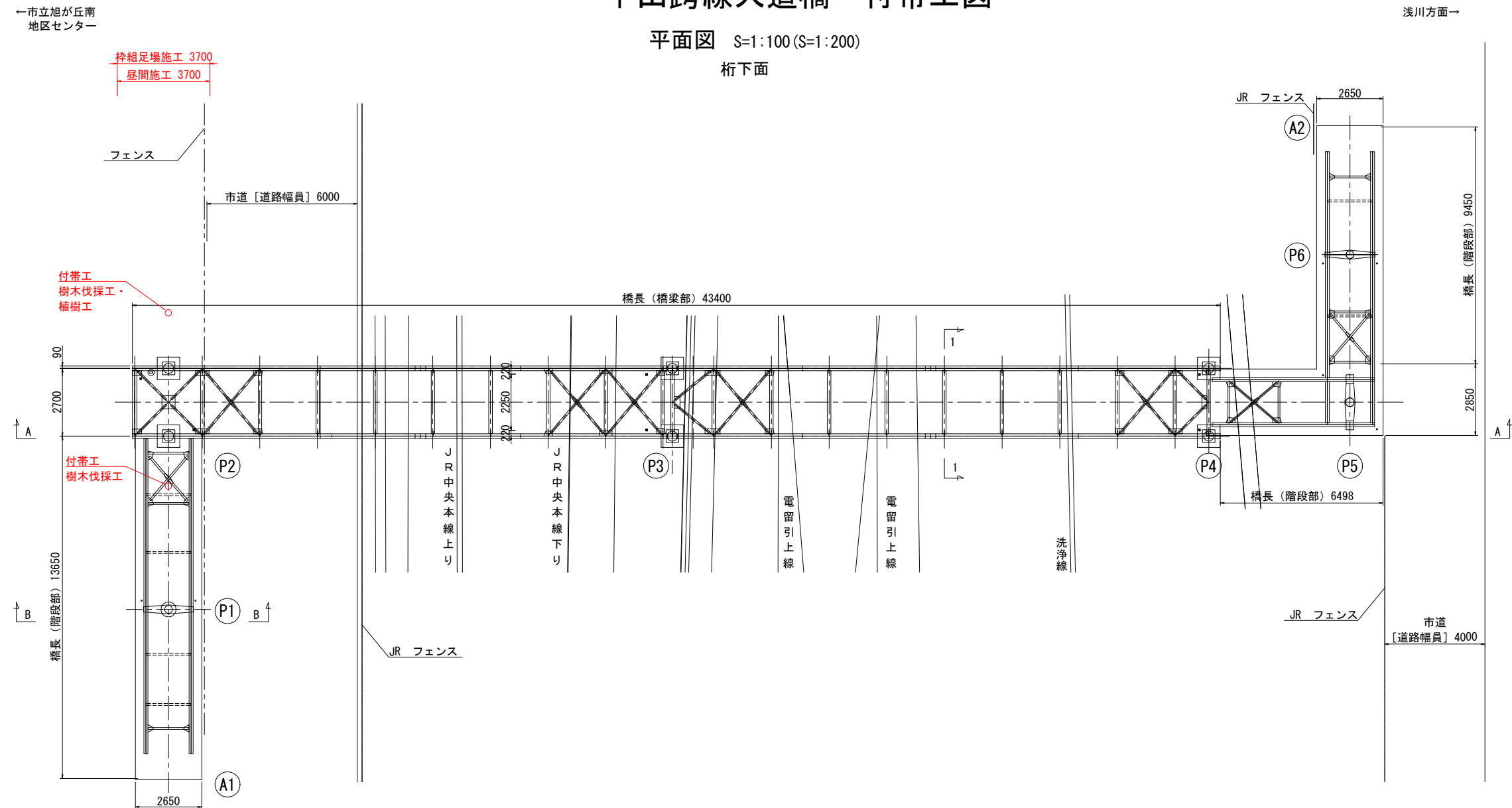
補修工詳細図



注記)
1. この図面は竣工図、現地計測、3D測量調査、
過年度資料を基に作成したものである。工
事の際には寸法形状を測定し使用すること。

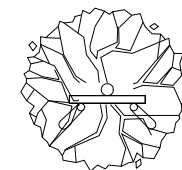
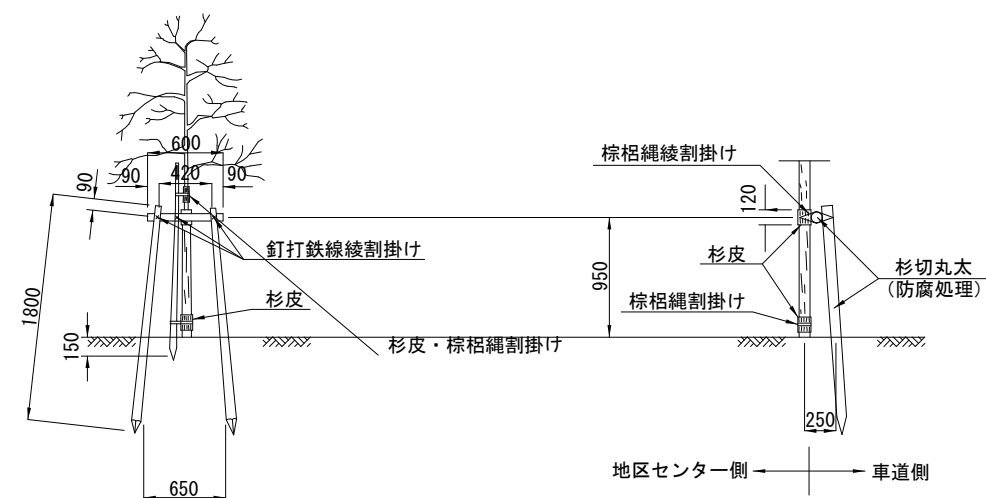
路線(河川)名	平山跨線人道橋補修工事 (7-1)		
工 事 件 名	平山跨線人道橋		
工 事 箇 所 又 は 橋 名	下部工補修工図		
図 面 名 称	縮 尺	図 示	※ () はA3縮小時
作成年月日	令和 7 年 7 月 日		図面番号
部 長	課 長	主 幹	係 長
浅 川	小 俣	伊 藤	伊 藤
日 野 市	ま ち づ くり 部	道 路 課	16
			19

桁下面



キンモクセイ（仮） 二脚鳥居（添木付）
樹高250cm以上

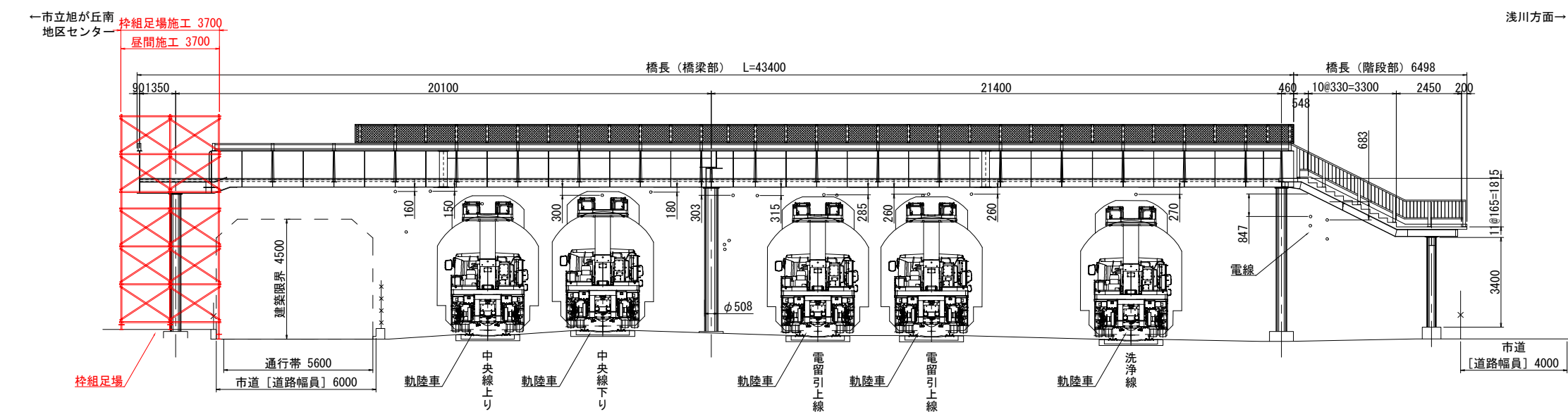
平面图



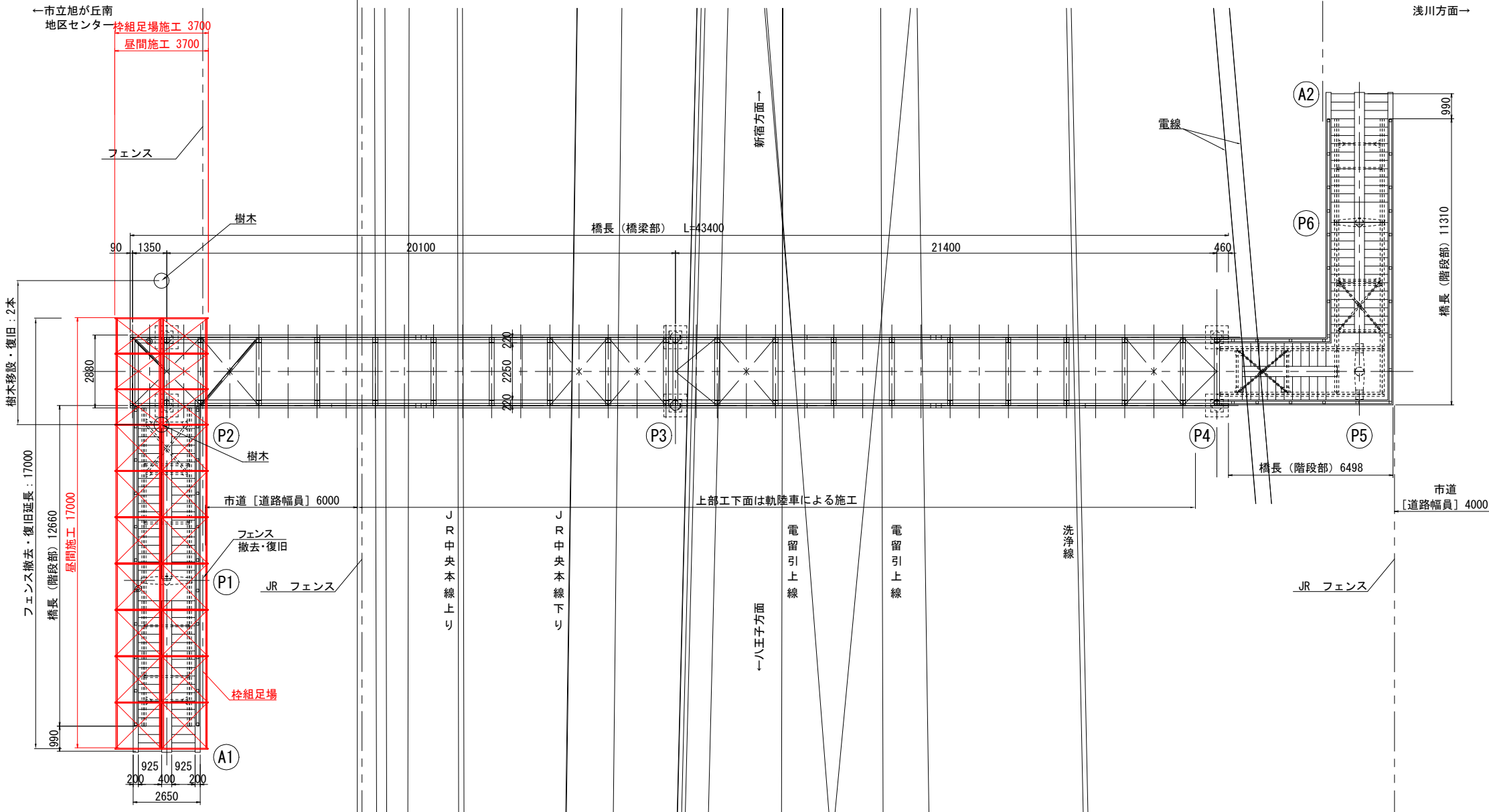
路線(河川)名					
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)			
工 事 箇 所 又は 橋 名		平山跨線人道橋			
図 面 名 称	付帯工図			縮	図 示
				尺	※ () はA3縮小時
作成年月日		令和 7 年 7 月 日		図面番号	
部 長 課 長 主 幹 係 長 照 査 設 計				17	
     				19	
日野市 まちづくり部 道路課					

平山跨線人道橋 足場計画図（案）【参考】

側面図 S=1:100 (S=1:200)



平面図 S=1:100 (S=1:200)

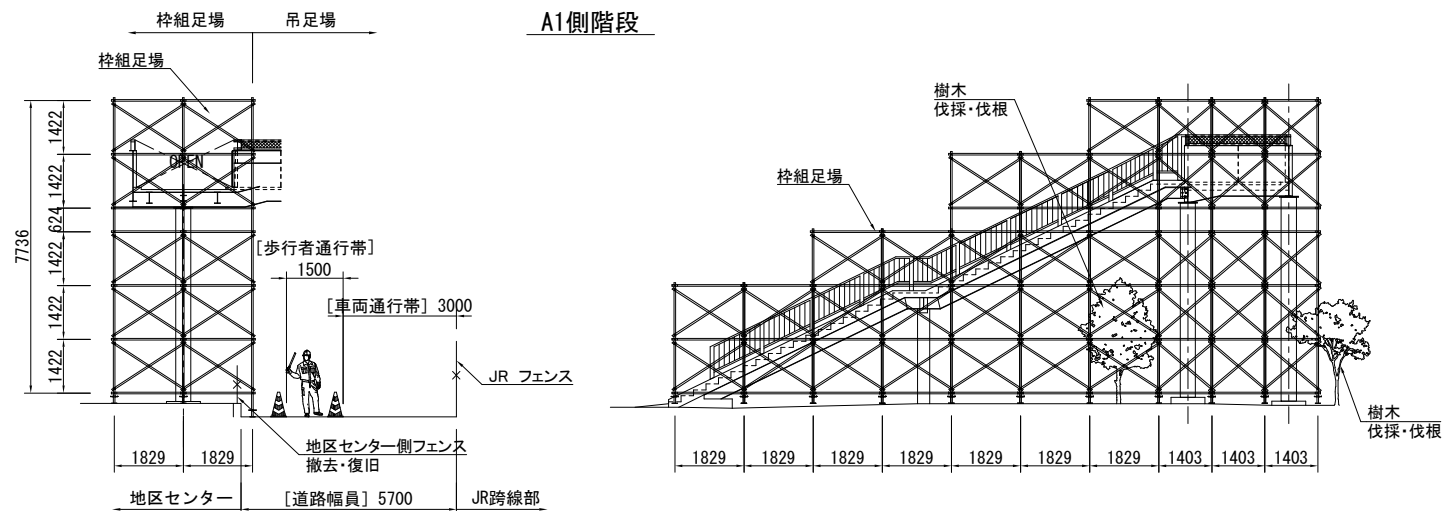


注記)
1. この図面は現地計測、3D測量調査、過年度資料を基に作成したものである。工事の際には寸法形状を測定し使用すること。
2. 架線近接部、及び第5径間の地足場はFRP管を使用すること。

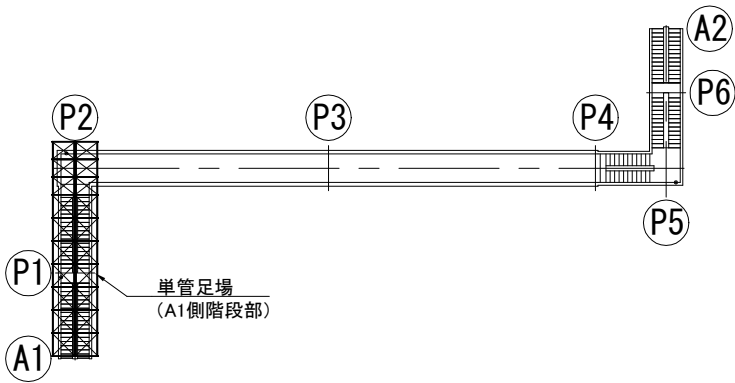
路線(河川)名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)	
工 事 件 名		平山跨線人道橋	
工 事 箇 所		平山跨線人道橋	
図面名称		足場計画図 (案) 【参考】	縮 図 示
作成年月日		令和 7 年 7 月 日	図面番号
部 長 課 長 主 幹 係 長 照 査 設 計		18	19
日野市 まちづくり部 道路課			

平山跨線人道橋 足場詳細図（案）【参考】

単管足場（階段部） S=1:100 (S=1:200)



KEY-PLAN



※本仮設図は参考図とし、施工に際しては現地確認および計測を行い、適切な足場形状を決定すること。

工種	規格・寸法	数量	単位	施工区分
単管足場	A1単管足場	191.59	掛㎡	日野市

※片側朝顔防護足場及び吊足場面積：必要足場幅X施工延長
※単管足場面積：高さX幅X2列
※き電線等の付近に設置する足場材はFRP等の絶縁部材を使用すること。

撤去・復旧 数量			
対象物	数量	単位	備考
樹木	2.0	本	日野市
フェンス(地区センター)	17.01	m	

路線(河川)名					
工 事 件 名		平山跨線人道橋補修工事 (7-1)			
工 事 箇 所 又 は 橋 名		平山跨線人道橋			
図面名称	足場詳細図（案）【参考】				縮 図 示
					尺 ※ ()はA3縮小時
作成年月日		令和 7 年 7 月 日			図面番号
部 長	課 長	主 幹	係 長	照 査	設 計
浅川	小俣	伊藤	伊藤	川上	三澤
日野市 まちづくり部 道路課					19